

2017年9月20日
第123号
(Web版第17号)

日本犯罪社会学会ニュース

発行

日本犯罪社会学会
JAPANESE ASSOCIATION OF
SOCIOLOGICAL CRIMINOLOGY

- I 第2回犯罪学合同大会のご報告と御礼
- II 2017年度総会と公開シンポジウムのご案内
- III 伊藤康一郎理事のご逝去について
- IV 第17回(2018年度)「日本犯罪社会学会奨励賞」自薦・他薦の募集
- V 各部・委員会報告

※第107号からニューズレターはWebのみで発行しております。

※会員動向につきましては、年間2回、会員のみに詳細版を同封いたします。

I 第2回犯罪学合同大会のご報告と御礼

渉外広報委員長 本庄 武

9月1日（金）から3日（日）にかけて、國學院大學にて、第2回犯罪学合同大会が開催されました。開催の狙いは、犯罪関連学会ネットワークを構成する各学会が同一機会に同一場所で大会を開催し、相互に他の学会に参加し刺激を与えあうことで研究を活性化し、犯罪学の今後の発展を促進する、というものでした。日本犯罪学会、日本犯罪社会学会、日本犯罪心理学会、日本社会病理学会、日本司法福祉学会の5学会の大会が同時に開催されました（日本更生保護学会についてはオブザーバー参加）。

1日は、合同大会企画公開シンポジウム「アディクションからの回復支援のネットワークの可能性—司法と福祉、理論と実践は、分かりあえるのか?—」が開催され、予想を上回る参加者を得て、関心の高さを窺わせました。2日、3日は各学会の学術大会が開催されました。合同大会のため参加者の減少が危惧されましたが、幸いにも犯罪社会学会では例年通りの参加者を得ることができ、それぞれの企画で充実した報告及び議論を行っていただきました。なお犯罪社会学会の会員が他学会の企画に参加し、他学会の会員が犯罪社会学会の企画に参加することも多くみられました。大会翌日の4日には、合同大会企画として犯罪学関連施設参観ツアーが開催され、3つのコースに分かれ、約70人の各学会会員が交流しながら、各施設を参観しました。

当初、学術大会を合同で開催することの意義については、懐疑的な意見が根強くあり、私自身も少なからぬ懸念を有しておりましたが、渉外広報委員会が大会実行委員会の役割を拝命することになって以降は、会員の皆様に大会に参加してよかったと思ってもらえるようにと円滑な大会運営に意を払いました。個人的に合同大会準備委員として、施設参観ツアーの企画責任者を務めたのも、大会の魅力を高めることにいささかでも貢献できればとの思いからでした。幸い、大会運営の経験が豊富な小関慶太渉外広報委員のご活躍、受付業務をご支援いただいた龍谷大学犯罪学研究センターの皆様のおかげで、犯罪社会学会の大会は大きな過誤なく運営することができました。あわせて、今回の合同大会について犯罪社会学会が果たした役割は大きかったことをご報告いたします。公開シンポジウムについては、石塚会長が企画を、後藤弘子理事が総合司会を、指宿信会員がシンポジウム司会を、水藤昌彦会員が報告者を務められました。また施設参観ツアーにつきましても、小関慶太会員、矢作由美子会員、高橋有紀会員のご協力をいただいたからこそ実現できたものです。

大会運営を順調に行えたのは、合同大会の準備委員長を務められた横山實名誉教授、大会校での調整事務をほぼ一手に担われた関哲夫教授を始めとする國學院大學の皆様にご尽力いただいたことの賜物です。直前まで様々なお願いをしてしまいましたが、誠実にご対応いただきました。この場をお借りして、篤くお礼を申し上げます。

最後に、今回の合同大会が今後の犯罪学の発展に寄与することを祈念して、開催報告とさせていただきます。

II 2017年度総会と公開シンポジウムのご案内

このたび、第44回大会を犯罪学合同大会として開催する運びとなりましたが、総会は10月21日（土）に龍谷大学深草キャンパスにて、11時00分より開催いたします。つきまして、総会にご出席いただきたく、ご案内申し上げます。

なお、当日は総会終了後に龍谷大学矯正・保護総合センター、龍谷大学犯罪学研究センター、科学研究費補助金、龍谷大学社会科学研究所との共催で公開シンポジウムを開催いたしますので、あわせてご出席いただきたく、よろしくお願い申し上げます。

(1) 日本犯罪社会学会 2017 年度総会

日時：2017年10月21日（土）11時00分開始
場所：龍谷大学深草キャンパス 22号館 101教室
〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町 67

(2) 公開シンポジウム

テーマ：「人はなぜ暴力を振るうのか、その対策とは」
日時：2017年10月21日（土）13時00分開始
場所：龍谷大学深草キャンパス 22号館 101教室
※総会と同じ会場です

(会場案内図)



詳細につきましては、第2回犯罪学合同大会プログラムをお送りした際に同封したチラシもしくは学会ウェブサイトをご覧ください。

Ⅲ 伊藤康一郎理事のご逝去について

伊藤康一郎理事（中央大学法学部教授）が2017年8月25日（金）にご逝去されました（享年62歳）。謹んでお知らせいたします。伊藤理事は第13期と第14期に庶務理事を務められ、第15期（今期）は研究理事および、編集委員会関東幹事を務められました。本学会への多大なるご貢献に深く感謝を申し上げますとともに、ご冥福をお祈りいたします。

IV 第17回(2018年度)「日本犯罪社会学会奨励賞」自薦・他薦の募集

日本犯罪社会学会では、犯罪、非行、刑事司法、及び、それらに関連する諸事象に関する社会科学的研究の活性化と発展のため、そして、知的資産の不断の蓄積および学術内容の更なる質的向上のため(特に若手研究者への刺激と登龍門として)、「日本犯罪社会学会奨励賞」を創設し、受賞研究業績を選考し表彰しております。

2018年度は、著書が選考対象となる年です。2016年4月から2018年3月までに公表された、原則として満40歳以下の会員(受賞時点で会員であること)による著書の自薦・他薦を募集いたします。ノミネートの期限は2018年3月31日(消印有効)です。詳細は学会ホームページの「奨励賞規約」をご覧ください。

自薦・他薦いただく際には、以下の情報を記した書面とともに、選考対象著書を5部、学会事務局宛ご送付いただくようお願いいたします。封筒に「奨励賞応募著書在中」とご明記ください。なお、応募された著書5部は返却いたしません。

- 1) 選考対象の著者名(フリガナ)、連絡先住所、電話番号、メールアドレス
- 2) 選考対象者の生年月日
- 3) 選考対象著書名、出版社名、出版年月日
- 4) 他薦の際には、推薦者の連絡先住所、電話番号、メールアドレス

日本犯罪社会学会 事務局

〒577-0036 東大阪市御厨栄町3-1-35 学術センター U-BOX 2階

V 各部・委員会報告

1 研究委員会

第2回犯罪学合同大会が、2017年9月1日(金)～9月3日(日)の3日間にわたり、國學院大学渋谷キャンパス(東京都渋谷区)において行われました。例年の大会とは異なり、日本犯罪学会、日本犯罪心理学会、日本社会病理学会、日本司法福祉学会との合同大会としての開催で、成功のうちに大会を終えることができました。これも会場となった國學院大学の関係者の皆さまによるご尽力をはじめ、会員の皆さまのご協力の賜物です。ありがとうございました。

『日本犯罪社会学会第44回大会報告要旨集』は、学会ウェブサイトにて12月末にアップロードされる予定です。合同大会のうち、日本犯罪社会学会の企画の内容につきましては、こちらの要旨集をご覧ください。

2 編集委員会

『犯罪社会学研究』43号の自由論文・研究ノートの特稿締切りは2018年5月31日です。HPおよび最新の既刊号所載の特稿規程に従って、下記住所宛にご送付ください。なお、特稿は常時受け付けております。会員の皆様のご特稿をお待ちしております。本誌が犯罪社会学の自由な学術フォーラムとなることを期待しています。

<自由論文・研究ノートの特稿先>

〒160-0004 東京都新宿区四谷2-10 八ッ橋ビル7階 現代人文社気付

日本犯罪社会学会編集委員会

学会誌編集業務に関するご意見・ご質問につきましては、下記までお寄せください。
<編集委員会事務局>

hanshahenshu17@gmail.com

3 渉外広報委員会

渉外広報委員会では、犯罪社会学に関する研究会に対し、助成を行っております。年度ごとに2件、1件あたりの助成金は40,000円です。本助成を申請する際には、研究会開催に先立って申請責任者の名前と住所ならびに所属、研究会の名称、助成を申請する研究会の開催日時・開催場所・内容(テーマ、タイトル等)を、渉外広報委員会までご連絡ください。研究会開催後の申請は受け付けておりません。連絡先は下記のとおりです。受付後、速やかに審査手続きを行い、採否を通知いたします。採用が決定した際には、渉外広報委員会より助成金の振り込みを行います。また学会ホームページにて当該研究会の広報を実施します。後日、申請責任者には、領収書の提出等の事務手続きを担当していただきます。

相応しい企画がございましたら、是非積極的にご応募くださいませ。

連絡先：本庄 武 (t.honjo@r.hit-u.ac.jp)

日本犯罪社会学会事務局 (hansha@daishodai.ac.jp)

4 本部事務局会計部

会費納入のお願い

まだ2017年度の会費をお支払い頂いていない方は、郵便振込にて会費を納入されるようお願い申し上げます。金額、口座番号および口座名は下記の通りです。

また、領収書をご希望の方は払込票の通信欄にその旨を記入して下さい。

通常会員 8,000円 (今年度分より会費が改定されましたので、ご注意ください。)

但し、院生会員 6,000円 (大学院に在籍し、かつ常勤の職を有しない会員)

国外会員 7,000円 (国外に在住し、かつ国内に連絡先を有しない会員)

郵便振替口座 00950-2-148284

加入者名 日本犯罪社会学会

会費を3年未納となりますと年度末で退会扱いとなります。滞納されていて会員の資格についてご確認なされたい方、また退会をお考えの方は、その旨を事務局まで御一報下さい。

なお、銀行振込や小切手での会費の支払いは受け付けておりませんのでご注意下さい。

5 本部事務局庶務部

(1) 献本 (2017年4月22日～2017年6月27日現在)

下記の通り献本がありました。ご報告少々、お礼申し上げます。

- ・科学警察研究所著『科学警察研究所報告』第65巻第2号、第66巻第1号
- ・長沼友兄編『高瀬真卿日記 六』淑徳大学アーカイブズ
- ・竹原幸太著『失敗してもいいんだよ 子ども文化と少年司法』本の泉社

・・・・・・・・・・・・・・・・以上4冊

(2) 会員数 (2017年6月27日現在)

一般会員 465名、名誉会員 11名、終身会員 1名、特別会員 2団体、合計 479名

※個人情報保護のため、ニューズレターの記載は人数のみとします。会員各位には、年間2回(大会プログラム発送時、大会報告要旨集発送時)に会員動向の詳細版を同封いたします。

お願い

転勤等で所属や連絡先を変更された場合は、学会事務局まで速やかにご連絡下さい。

事務局では、会員の皆様からのご意見、ご要望、インフォメーションなど随時承っております。

日本犯罪社会学会 事務局

〒577-0036 東大阪市御厨栄町3-1-35 学術センター U-Box 2F

TEL : 06-6618-4324 (月～金 10:00-16:00)

FAX : 06-6781-8883

E-mail : hansha@daishodai.ac.jp

*お問い合わせ・ご連絡は、なるべくメールでお願いいたします。
